

## ■第3回 浜名湖エコキッズ体験塾 in むらくし

浜名湖ではかつてアマモを堆肥として利用するなど、湖と陸地との循環システムが構築されており、浜名湖の浄化にも一役買っていた。しかし、近年、農林業の衰退、また化学肥料の普及によりその循環システムが機能しなくなった結果、浜名湖の環境に影響を与えています。

今回は、回収したアマモを実際に村櫛町の畑(遊休農地)に野菜の肥料として利用する試みを行います。

- と き 平成25年9月8日(土) 9:30~
- ところ 浜松市西区村櫛町 浜名湖ガーデンパーク西側(農地)  
集合は浜名湖ガーデンパーク駐車場
- 内容 ①浜名湖の環境と農業ミニ講座  
②水草を肥料にした循環型農業の体験(野菜の種まき)  
③食交流(浜名湖ガーデンパーク内にて)
- 参加費 大人 1,000円、こども 500円(昼食・クルーズ代に充てられます)

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

## ■浜名湖エコワークショップ

- 第1回 浜名湖のアマモ利用を考える現地見学&意見交換  
日程は11~12月上旬を予定しています。内容や日時などが決まりましたら、ご案内します。
- 第2回 パネル討論会  
日程は来年2月下旬~3月上旬を予定しています。内容や日時などが決まりましたら、ご案内します。

## ネットワークの新しい仲間紹介

当ネットワークの活動の趣旨に賛同していただき、何らかの形で参加・協力してもらえらる仲間を募集。

現在の仲間は以下の分類で合計74団体が登録していただいております。会費は徴収していません。活動の連携により浜名湖の課題解決に取り組まいませんか？

- NPO・市民活動団体
- 企業・団体
- 研究機関
- 行政

# 合計74団体

### 【事務局からのお知らせ】

はまなこ環境ネットワークでは、活動団体の仲間を随時受付しています。ホームページから登録申請書をダウンロードしていただくか、あるいは事務局までお問い合わせください。<http://www.hamanako-kankyo.net/>

浜名湖の自然環境として大きな役割を担っている「アマモ」や「アオサ」が時には困りものになります。アマモは、群生地となると「アマモ場」と呼ばれ、魚やエビ・カニなどの魚介類が小さい頃外敵から身を守る「海のゆりかご」として知られております。生物多様性の中で重要なアマモですが、切れて陸に打ち上げられると住民や観光客、漁業者にとって“困りもの”となります。税金を使って回収・処分を行っています。

実は、化学肥料の普及が始まる前までは、アマモなどは「モク」と呼ばれ、畑の堆肥として重宝されました。このモクの権利を獲得するため争いごともあったようです。



## 浜名湖の水草(アマモ・アオサ)を活用する試み

平成24年度は、流域の住民などが参加して、当ネットワークメンバーの活動のフィールドでアマモ・アオサを活用する試みを行います。

### ■アマモを知る

NPO法人はまなこ里海の会が「アマモ場の観察会」を実施している浜松市西区舞阪町弁天島を舞台に親子でアマモに関する学習や観察会などの体験をしました。  
(6/30 第1回 浜名湖エコキッズ体験塾 in 弁天島)



### ■アマモを回収する

舘山寺温泉観光協会が舘山寺サンビーチ海岸に打ち上げられるアマモやアオサを浜松市の協力で回収しています。このアマモ・アオサの影響を知り、回収する作業を体験しました。  
(7/14 第2回 浜名湖エコキッズ体験塾 in かんざんじ)



### ■アマモを畑に使う

舘山寺のサンビーチから回収したアマモ・アオサをNPO法人むらちゃネットが借り受けた耕作放棄地となった村櫛町の畑で協働によりアマモ等を肥料にして野菜を植えます。農業による浜名湖の水草を循環する実証実験です。(9月以降 第3回浜名湖エコキッズ体験塾 及び 管理・収穫作業)

## 6/30(土) アマモを知る(浜名湖エコキッズ体験塾 in 弁天島)

■場所：浜松市西区弁天島（いかり瀬付近）

### ■アマモ・アマモ場を学ぶ学習会

NPO 法人はまなこ里海の会窪田事務局長から浜名湖の中でアマモが果たす役割について、浜名湖に生息するアマモの種類についても示していただきながら説明をしていただきました。浜名湖が国内でも数少ない豊かなアマモ場を有していること、この貴重な財産を守り抜くことの重要性について学びました。



### ■生き物の観察会

弁天島海浜公園から船でいかり瀬に移動し、タモを持ってアマモ場の中で生きものを観察しました。意外にあっさりと捕まる動植物に、あちこちから興奮の声が上がり、豊かな浜名湖を実感しました。参加者が採取した動植物を水槽に移し、インストラクターから捕まえた動植物の名前や生態について教えていただき、みんなで学びました。



アマモ場の生きものを採取・観察



採取した生きものを指導員が説明



小さな魚がたくさんいました

多くの人たちが参加して、アマモの存在や浜名湖にとって「アマモ場」が大切なことを体験しながら知りました。



## 7/14(土) アマモを回収する(浜名湖エコキッズ体験塾 in かんざんじ)

■場所：浜松市西区舘山寺町（舘山寺温泉サンビーチ海岸）

### ■アマモの回収作業

舘山寺温泉のサンビーチ海岸に打ち上げられたアマモが周囲に及ぼしている影響や、またそのアマモの有効活用する方法について学びました。

説明の後、実際に湖岸に打ち上げられたアマモを回収する清掃活動を行い、ダンプカーで回収しました。雨が降った後は、ビーチが打ち上げられたアマモでいっぱいになってしまいます。

この企画は、NPO 法人浜名湖舘山寺温泉観光街づくり協議会、NPO 法人むらちゃネット、須山建設㈱の協力により実現しました。



力を合わせてアマモを回収しました



ダンプに積み込んで村楯の畑に運びます



きれいになったビーチで地引網を楽しみました



回収したアマモを村楯の農地に降ろしました

夏場の作業で暑くて大変でしたが、いい汗をかきました。でも参加者は楽しみながらやっていました。さて次回は、アマモを畑の肥料として使い、野菜を植えます。大根や白菜を予定しています。しかし、浜名湖のアマモは塩分が付着しているため、雨で洗い流してから使うのでしばらく置きます。次回は9月！！